

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】平成 24 年 3 月 22 日 (2012.3.22)

【公開番号】特開 2010-191584 (P2010-191584A)
【公開日】平成 22 年 9 月 2 日 (2010.9.2)
【年通号数】公開・登録公報 2010-035
【出願番号】特願 2009-33900 (P2009-33900)
【国際特許分類】

G 0 6 F 3/06 (2006.01)

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 3/06 3 0 1 Z

G 0 6 F 13/00 3 5 3 C

【手続補正書】
【提出日】平成 24 年 2 月 7 日 (2012.2.7)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

第 1 の外部装置及び第 2 の外部装置と通信可能な情報処理装置であって、
データを記憶するメモリを通信可能に接続するための接続手段と、
前記第 1 の外部装置と通信している状態で前記第 2 の外部装置から処理要求を受けた場合に、該第 1 の外部装置が前記メモリをマウントしているか否かを判定する判定手段と、
前記判定手段により、前記第 1 の外部装置が前記メモリをマウントしていると判定された場合に、前記第 1 の外部装置に対して前記メモリをアンマウントするよう要求する要求手段と、
前記要求手段による要求に応じて前記第 1 の外部装置が前記メモリをアンマウントした後、前記第 1 の外部装置との通信を切断し、前記第 2 の外部装置との通信を開始する通信制御手段と、
を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】
前記判定手段により、前記第 1 の外部装置が前記メモリをマウントしていないと判定された場合は、前記要求手段が前記要求を行うことなく前記通信制御手段が前記第 1 の外部装置との通信を切断することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】
前記第 1 の外部装置及び前記第 2 の外部装置との間で無線通信を実行する通信手段と、
前記第 1 の外部装置または前記第 2 の外部装置から前記通信手段を介して処理要求を受けた場合に、該処理要求を送信した外部装置を示す識別情報を管理する管理手段と、
を更に備え、
前記通信制御手段は、前記管理手段により管理されている識別情報に基づいて、前記通信手段による前記第 1 の外部装置及び前記第 2 の外部装置との通信を制御することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】
前記通信手段は、前記第 1 の外部装置及び前記第 2 の外部装置との間で無線 U S B 通信を実行することを特徴とする請求項 3 に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記第 1 の外部装置が前記メモリをマウントしている状態において、前記接続手段は、該第 1 の外部装置からの指示に応じて前記メモリにデータを書き込む処理または前記メモリのデータを読み出す処理を実行することを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記接続手段によって接続される前記メモリは、前記情報処理装置に着脱することが可能な携帯型メモリであることを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

データを記憶するメモリを通信可能に接続するための接続手段を備え、第 1 の外部装置及び第 2 の外部装置と通信可能な情報処理装置の制御方法であって、

前記第 1 の外部装置と通信している状態で前記第 2 の外部装置から処理要求を受けた場合に、該第 1 の外部装置が前記メモリをマウントしているか否かを判定する判定工程と、

前記判定工程で、前記第 1 の外部装置が前記メモリをマウントしていると判定された場合に、前記第 1 の外部装置に対して前記メモリをアンマウントするよう要求する要求工程と、

前記要求工程での要求に応じて前記第 1 の外部装置が前記メモリをアンマウントした後、前記第 1 の外部装置との通信を切断し、前記第 2 の外部装置との通信を開始する通信制御工程と、

を備えることを特徴とする情報処理装置の制御方法。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の情報処理装置の制御方法をコンピュータに実行させるための コンピュータ可読のプログラム。